

# 発言通告書（総括表）

## 令和5年第1回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	小林やすお議員 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千代田区第4次基本構想の実現に向けた予算編成と、行財政改革に関する基本条例廃止後の行財政運営について</li> <li>・ 令和5年度予算案について</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の今後の対応について</li> <li>・ DXの推進について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算編成に当たり、基本構想の理念の実現に向けた予算編成の考え方とは。</li> <li>・ 行財政改革基本条例の廃止後、行財政運営の透明性と財政の健全性を確保しながら、新たな基本構想の考え方をどう担保するのか。</li> <li>・ 第4次基本構想で掲げる「めざすべき将来像」や「分野別将来像」は全庁で共有出来ているのか。</li> <li>・ 物価高騰など社会経済状況が目まぐるしく変わる中で、令和5年度予算は区民生活を支える内容となっているのか。</li> <li>・ 第8波における千代田区の感染状況についてお答えください。</li> <li>・ 2類相当から5類へと移行することにより、区にはどのような影響や課題があり、今後の区の感染症対策はどのように変わるのか。</li> <li>・ 現時点における、区のDX推進の取組みの成果について、区長の認識は。</li> <li>・ DXの推進のために、区が抱える組織的な課題をどう認識し、どうして体制強化が必要だと判断したのか。</li> <li>・ 世界的なデジタル文化の街でもある秋葉原を有する区は、DXの推進を一層加速させていくべきと考えるが、区長の認識は。</li> </ul>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和5年第1回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
2	木村議員 (共産)	<p>岸田政権がすすめる大軍拡・大増税と国際平和都市千代田区宣言について</p> <p>再開発とまちづくりについて</p> <p>第4次住宅基本計画の策定にむけて</p> <p>区政のデジタル化について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更について</p>	<p>政府は敵基地攻撃能力の保有と大軍拡をすすめようとしている。この安保政策の大転換は、千代田区の「世界の人々と連帯して核兵器をなくし、…、互いに理解しあい、世界の恒久平和を実現する」とした平和都市宣言の理念と相いれないのではないか。所見を問う。</p> <p>まちづくりとは、住み続けられる生活基盤をつくり、それを通して人と人をもつなぐものとする。その立場から地区計画の見直し、市街地再開発事業、区道整備事業について住民参加のしくみを提案する。</p> <p>◇「住まいは人権」であり、セーフティネットを支える施策の強化を。住宅白書の作成と、基本計画改定の検討委員会に住民参加とジェンダー平等を求める。 ◇公共住宅における保証人制度の廃止を</p> <p>デジタル化と個人情報保護の強化は一体ですすすめられるべきである。本人に無断で個人情報を外部に提供しない制度的保証はあるか。</p> <p>5類に変更されることで、医療費の負担増、診療報酬上の特例措置や病床確保料などの見直し、PCR等の検査を行う一般検査事業の終了など、各種のコロナ対策の施策が縮小、段階的廃止がすすめられようとしている。これは区民の命と健康を守る公的責任の後退とならないか。</p>	区 長 関 係 理 事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和5年第1回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	大串議員 (公明)	<p>1. Well-Being を指標とした区政運営を！</p> <p>2. 行財政運営の考え方について</p> <p>3. まちづくりの「適正な手続き」について</p>	<p>1) 「区政は区民を幸せにするシステムである」とは荒川区のドメイン(事業領域)である。すべての自治体に共通のものであると思う。そこで、改めて千代田区のドメインとするところは何か。</p> <p>2) 幸福度調査の意義と有効性を踏まえ、千代田区版の幸福度調査の実施を提案する。所見は。</p> <p>3) 新たな基本構想を補完すべく「Well-Being」と「持続可能性」を両輪とした区政運営の指針を示してはどうか。所見は。</p> <p>1) 2040年には高齢化がピークを迎える。財政問題が国のみならず地方でも大きな課題となっている所以である。そこで、区として2040年までの長期の財政見通しを踏まえた上での今後の行財政運営の考え方を問う。</p> <p>2) 平成13年財政白書のその後</p> <p>① 平成13年策定の財政白書で示された約束や提案はどこまで実現できたのか。</p> <p>② 今後の財政運営について区民へわかりやすく説明するための新たな財政白書の作成を提案する。所見は。</p> <p>1) まちづくりの「適正な手続き」について、現手続きからさらなる工夫が必要である。現手続きについての認識とさらなる手続きについてはどう考えているのか。</p> <p>2) 「まちづくりプラットフォームのあり方」について</p> <p>① 策定の目的と期待される効果とは何か。</p> <p>② 合意形成について「適切なプロセス」が必要としているがその意味は。またそのプロセスとは具体的にはどういうものを予定しているのか。</p> <p>③ まちづくりに多様な主体が主体的に参加できる「まちづくり協議会」のあり方とは。</p> <p>3) 「エリアマネジメント活動推進ガイドライン」について</p> <p>① 策定の目的と期待される効果とは何か。</p> <p>② 今後のまちづくりについては「開発(デベロップメント)から管理運営(マネジメント)へ」としている。管理運営の内容と方法は。</p>	区 長 関係 理事 者